



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社ランドコンピュータ
 コード番号 3924 URL <https://www.rand.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5232-3046

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	6,141	2.9	261	33.1	283	30.2	188	30.3
2020年3月期第3四半期	6,321	13.9	391	27.0	406	31.9	270	34.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.47	
2020年3月期第3四半期	45.14	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	5,307	3,695	69.6	617.27
2020年3月期	5,498	3,626	66.0	605.74

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 3,695百万円 2020年3月期 3,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		15.00	25.00
2021年3月期		12.00			
2021年3月期(予想)				13.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期(予想)期末配当金内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 1円00銭(創立50周年記念配当)

配当予想の修正につきましては、本日(2021年2月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	4.3	514	27.5	534	26.2	350	26.2	58.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2021年2月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	5,987,100 株	2020年3月期	5,987,100 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	213 株	2020年3月期	213 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	5,986,887 株	2020年3月期3Q	5,986,047 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化により、企業収益が大幅に減少するなど極めて厳しい状況となりました。段階的に社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気を持ち直しの傾向がみられましたが、新型コロナウイルス感染の再拡大から再び緊急事態宣言が発令されるなど、事態収束の兆しが見えず、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界においては、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応や、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけとしたテレワーク環境の整備など、ITに対する底堅いニーズがあるものの、対面営業や顧客先対応業務が制限されたほか、業績悪化による企業のIT投資の先送りや抑制など一部に慎重な動きがみられるなど、先行き不透明な事業環境にあります。

このような環境のもと当社では、パートナー企業を含む社員及びお客様の健康と安全を確保しつつ生産性を維持するため、テレワークや時差通勤、リモートによる商談、オンライン会議等を積極的に推進し、事業活動の維持・継続に注力してまいりました。また、引き続き既存顧客とのパートナーシップの強化による領域の拡大及び顧客満足度の向上に努め、さらにDX推進本部を中心とする新デジタル分野（クラウド、IoT、AI）への取り組みに注力し、開発要員の採用強化及びパートナー企業との更なる連携強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高はほぼ計画通りに推移しておりますが、前年同期に比べ法改正等に伴う開発案件の反動減等により6,141,222千円（前年同四半期比97.1%）と減収となりました。損益面につきましては、引き続きコロナ禍の活動自粛に伴う会議・交際費、旅費交通費などの不要不急の費用削減効果が増加した一方、将来の新デジタル分野への投資としての教育研修費及び人件費が増加しました。また、第2四半期に発生した大型不採算プロジェクトにおいて、第4四半期以降に発生が見込まれるコストを原価として損失引当金に計上した結果、営業利益は261,582千円（前年同四半期比66.9%）、経常利益283,236千円（前年同四半期比69.8%）、四半期純利益は188,380千円（前年同四半期比69.7%）となりました。

なお、第2四半期に発生した大型不採算プロジェクトにつきましては、今後損失が拡大しないようその対応に要員を投入し解決策について顧客と継続的な協議を行い、今年度末までの収束に向けて現在対応しております。

当社事業のサービスライン別の業績を示すと、次のとおりであります。

事業のサービスライン	売上高（千円）	前年同期比（%）
システムインテグレーション・サービス	3,938,965	92.1
インフラソリューション・サービス	873,834	93.0
パッケージベースSI・サービス	1,328,423	120.2
合計	6,141,222	97.1

（システムインテグレーション・サービス）

クレジットカード分野での既存案件の売上が増加、社会基盤分野における通信業向けシステム開発案件の売上が増加しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による医療分野の受注が大幅に減少、保険・証券分野の開発案件の規模縮小、公共分野の新規受注案件の減少、流通系銀行の開発案件収束及び前年同期に比べ流通分野の法改正等に伴う開発案件の反動減等により売上が減少した結果、売上高は3,938,965千円（前年同四半期比92.1%）となりました。

内訳を業種別に示すと、次のとおりであります。

業種別	売上高（千円）	前年同期比（%）
金融	2,058,535	99.7
（うち銀行）	1,252,734	97.1
（うち保険・証券）	196,048	83.9
（うちクレジットカード）	609,752	112.7
産業・流通	1,411,816	88.8
公共	149,621	73.9
医療	318,991	76.2
合計	3,938,965	92.1

（インフラソリューション・サービス）

新型コロナウイルス感染症拡大による対面営業及び顧客先対応業務の制限等により上期売上は大きく減少しておりましたが、第3四半期以降は売上及び受注が回復傾向に推移した結果、売上高は873,834千円（前年同四半期比93.0%）となりました。

（パッケージベースS I・サービス）

会計パッケージ及び人事給与パッケージの導入支援・保守案件の売上が減少しましたが、当社におけるDX推進の中心であるクラウド分野のSalesforceビジネス関連において、複数事業部での展開等による大型開発案件の受注が増加したことにより、売上が前年同四半期比153.6%に増収となりました。またその他ではSAP案件の受注獲得拡大等により、パッケージベースS I・サービスの売上高は1,328,423千円（前年同四半期比120.2%）と大幅な増収となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における総資産は5,307,342千円となり、前事業年度末と比較して190,803千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が289,642千円増加、システム開発の進捗により仕掛品が309,627千円増加、未収還付法人税等が58,640千円増加、投資有価証券が63,444千円増加した一方、売上債権が817,070千円減少、繰延税金資産が66,684千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,611,831千円となり、前事業年度末と比較して259,813千円の減少となりました。これは主に、短期借入金が100,000千円増加、未払費用が44,247千円増加、預り金が76,000千円増加、受注損失引当金が103,900千円増加、退職給付引当金が16,979千円増加した一方、買掛金が66,478千円減少、未払金が12,584千円減少、納税により未払法人税等及び未払消費税等が250,863千円減少、賞与及び役員賞与の支給等により賞与引当金及び役員賞与引当金が260,563千円減少、株主優待引当金が12,936千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は3,695,511千円となり、前事業年度末と比較して69,010千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が26,734千円増加、その他有価証券評価差額金が42,275千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月12日に「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想から修正を行っております。

詳細につきましては、本日（2021年2月12日）別途開示しております「通期業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,167,705	2,457,347
受取手形及び売掛金	2,339,885	1,522,815
有価証券	300,000	300,000
仕掛品	83,644	393,271
前払費用	72,502	66,735
未収還付法人税等	—	58,640
その他	5,678	2,687
流動資産合計	4,969,416	4,801,497
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	51,896	45,664
工具、器具及び備品（純額）	33,578	28,600
有形固定資産合計	85,475	74,264
無形固定資産		
ソフトウェア	4,689	3,043
商標権	4,737	4,175
無形固定資産合計	9,426	7,218
投資その他の資産		
投資有価証券	114,681	178,126
差入保証金	66,744	60,567
ゴルフ会員権	3,600	3,600
繰延税金資産	250,202	183,517
貸倒引当金	△1,400	△1,450
投資その他の資産合計	433,827	424,361
固定資産合計	528,729	505,844
資産合計	5,498,145	5,307,342

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	465,323	398,844
短期借入金	—	100,000
未払金	45,429	32,844
未払費用	95,104	139,351
未払法人税等	166,478	—
未払消費税等	126,263	41,878
前受金	43,051	45,536
預り金	42,712	118,713
賞与引当金	360,816	123,853
役員賞与引当金	37,200	13,600
株主優待引当金	16,365	3,429
受注損失引当金	6,100	110,000
流動負債合計	1,404,846	1,128,052
固定負債		
長期末払金	100,000	100,000
退職給付引当金	366,798	383,778
固定負債合計	466,798	483,778
負債合計	1,871,644	1,611,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,499	458,499
資本剰余金	314,769	314,769
利益剰余金	2,799,090	2,825,825
自己株式	△195	△195
株主資本合計	3,572,164	3,598,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,336	96,611
評価・換算差額等合計	54,336	96,611
純資産合計	3,626,500	3,695,511
負債純資産合計	5,498,145	5,307,342

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	6,321,477	6,141,222
売上原価	5,243,558	5,249,150
売上総利益	1,077,919	892,072
販売費及び一般管理費	686,802	630,489
営業利益	391,116	261,582
営業外収益		
受取利息	90	126
受取配当金	1,843	2,363
業務受託料	3,500	7,243
助成金収入	6,194	11,289
受取和解金	3,000	—
その他	1,152	1,074
営業外収益合計	15,781	22,098
営業外費用		
支払利息	390	394
貸倒引当金繰入額	200	50
固定資産除却損	240	—
営業外費用合計	831	444
経常利益	406,067	283,236
税引前四半期純利益	406,067	283,236
法人税、住民税及び事業税	73,924	46,811
法人税等調整額	61,960	48,044
法人税等合計	135,884	94,855
四半期純利益	270,182	188,380

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社の事業は、システムソリューションサービス及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。